

[大会の流れ][試合進行][敗者審判]について

大会前日までに

- ・大会は敗者審判です。一人で審判・記録できますか？事前に“審判の練習”をしておいてください
- ・違反サーブが多いです…まっすぐ上に16cm以上トスをしてサーブを出すよう、意識してください
- ・ゼッケンをつけていない選手は大会に出場できないので、絶対に忘れないでください
- ・組み合わせは事前にメール配信されるので、監督の先生からプリントアウトしてもらってください

(組み合わせの見方)

※監督の先生に組み合わせをもらったら、まず[自分の番号][初戦の対戦相手][試合番号]を覚えよう。37番の伊波さん(本通中)と38番の尾崎さん(巴中)の試合番号は[1-4]です。勝った方が[2-17]で小坂さん(深堀中)と対戦します。プログラムの見方を事前に覚えておいてください。

2-17	小坂 (深堀)	36
1-4	伊波 (本通)	37
	尾崎 (巴)	38
2-18	高野 (桔梗)	39
	金子 (上ノ国)	40

大会前・大会当日の心構えや行動について

① 試合会場へ集合

- ・顧問の先生に指示された時間に遅れず集合してください
- ・観覧席には限りがあります…席を離れる場合は、必ずカバンを持ってください(カバンを置きっ放しにして“場所とり”するのはやめてください)

② 試合のコールを聞く

・「中〇男子1-4、37番:本通中:伊波さん、38番:巴中:尾崎さん8コートに入ってください」という風に、本部からコールされます。※何コートで誰と試合なのか、集中して聞いてください(チーム内で声を掛け合おう)

③ コートに入って待機

- ・先に呼ばれた選手は、記録用紙を取りに本部へ来てからコートへ入る(上記の例だと伊波さんです。2人のうち番号の小さい方になります)
- ・コートに入ったら、前の試合が終わるまで待機しててください

(前の試合がもう終わりそうなのに…もし対戦相手が来ていないようなら、本部に教えに来てください)

④ 試合を始める!

- ・対戦相手と練習して試合開始(1回目の試合は練習2分・2回目以降は1分)
- ・試合は原則5セットマッチ(3セット先取)で行います。違反サーブや試合態度については、各校で事前に指導をお願いします
- ・参加人数が多いため、[アドバイス2・4セット]のケースが多くなります
- ・2/4セット間のアドバイスは1分間です(審判は計測してください)

⑤ 負けた選手は…

- ◎そのままコートに残ってください!
- ① 待っている選手から記録用紙を受け取り、バインダーにはさむ
- ② 次の試合の審判を行う(敗者審判)
- ③ 1セットごとの点数を記録用紙に記入
- ④ 最後は必ずセット数を記入(3-2、1-3など)
- ⑤ 記録用紙をバインダーから外し、勝った選手へ渡す

※ここまで終わったら観覧席に戻ったり、監督に報告しに行ってもOKです

審判の生徒は責任をもってジャッジし、正確に記録を書き、各所で事前指導をお願いします!

№115	№117
所属 (北)	所属 (森)
選手名 井下	選手名 村上
2) [11 8 9 10 12 11 6 11 13 15] (3)	
進行	放送
記録	保管
審判員	

⑥ 勝った選手は…

- ◎記録用紙を本部へ提出してください
- ① まず勝敗が正しく記録されているか(自分が勝った事になっているか)を確認し、記入漏れがあれば審判の生徒に書いてもらう
- ② 本部へ用紙を提出し、勝った事を確認してもらってください。提出する際は礼儀正しい挨拶「お願いします」や返事を!

※本部での確認が終わったら観覧席に戻ったり、監督に報告しに行ってもOK⇒次の試合の準備をしてください

(勝った選手が本部に来なかったり、負けた選手が審判をせず台からいなくなると…進行が大幅に遅れてしまいます)